

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	帰国児童等指導援助事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市立の小中学校に在籍する児童生徒で、日本語指導を必要としている帰国児童生徒・外国人児童生徒に、学習や生活についての指導援助を行う指導者を派遣することにより、日本語で学習に参加できるよう日本語指導を行い、学校生活を支援する。また、帰国児童等に日本語指導及び学習支援を行う団体に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、日本語の使用に困難を有する帰国児童等の学校生活への適応を促進する。
-------	--

29年度概要	帰国児童等指導援助 (月2回程度) 指導援助事業補助金交付 (440千円)
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	市内小・中学校の児童生徒
意図(どのような状態にしたいか)	日本語指導の必要な児童生徒に日本語指導や生活指導を行うことにより、学校生活への円滑な適応を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
派遣延べ回数	回			488	600	600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	帰国児童等の学校生活への適応率	%	目標値			100	100	100
			実績値			100		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
								(達成度)
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[千円]	7,610	8,120	7,844	8,261
(事業費)	[千円]	3,919	4,281	3,918	4,335
(職員人件費)	[千円]	3,691	3,839	3,926	3,926

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

社会の国際化による外国人児童生徒の増加に伴い、対応児童生徒の増加と対応言語の複数化の必要が考えられる。常態的な対応が必要ではないので、必要な事態が生じた場合の対応を確認しておく必要がある。